

令和5年度第2回 鎌倉市スポーツ推進審議会 会議録

1 日時

令和6年3月25日（月） 午後6時30分から午後7時30分まで

2 場所

鎌倉武道館第1会議室

3 出席者

小川会長、渡部委員、加藤委員、和田委員、河田委員、若木委員、河合委員

4 事務局

藤林健康福祉部長、村松スポーツ課課長、小関スポーツ課課長補佐、
新井スポーツ課スポーツ担当係長、
スポーツ課スポーツ担当職員（斎藤、山口、松永）

5 会議の概要

小川会長

本日は皆様、お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

会長を務めさせていただくことになりました小川と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは早速ですが、次第に沿って議事進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

議事に入る前に事務局からの確認事項等ありますでしょうか。

小関課長補佐

まず本日の会議の成立についてご報告をいたします。鎌倉市スポーツ推進審議会条例第7条では「審議会は、委員の総数の過半数が出席しなければ議事を開くことができない」となっております。本日は委員10名のうち、7名のご出席をいただいておりますので、会議は有効に成立していることを報告申し上げます。

なお本日は辻委員、名取委員、高橋委員のお三方から欠席のご連絡をいただいております。渡部委員は、前回同様、オンラインでの出席になります。

次に審議会は原則公開してまいりますが、本日は傍聴を募りましたが希望者がいなかったため、このまま会議を続行させていただきます。

最後になりますが本日本配付しております資料の確認をさせていただきます。

資料1 鎌倉市スポーツ推進審議会における計画改訂スケジュール（修正後）

資料2 運動・スポーツに関する調査結果報告書冊子

それから資料3 鎌倉市スポーツ振興基本計画の改定にあたって、これは前回の第1回審議会で審議いただいた資料と同じものになります。

なおアンケートの自由記述につきましては、事前に送付させていただいたアンケート調

査報告書には掲載できておりませんでしたので、本日改めて自由記述の要旨を抜粋した資料を机上にて配布させていただいております。

事務局からの確認事項は以上でございます。

小川会長

それでは議事に入ります。議事（1）鎌倉市スポーツ振興基本計画改定スケジュールの確認について、事務局から説明をお願いします。

新井係長

資料1をご覧ください。

改定スケジュールについては、前回の第1回審議会において、ご審議をいただきましたが、その際、多数の委員から「拙速に改訂作業を進めるのではなく、時間をかけて改定作業に取り組むべき」というご意見をいただいたこと、また、アンケートについてもさらに精度を上げてから臨むべきとの意見をいただいた結果、アンケートの開始が当初予定していた11月から1月になったことなどから、資料1の下段の表「修正後」のとおり、スケジュールを修正するものです。

なお、修正にあたっては事前に各委員に修正案を提示し意見ををお願いしたところですが、特段、意見は寄せられず、皆様、概ね了承ということで確認いただいております。

それでは、あらためて、修正後のスケジュールについて説明をさせていただきます。

本日の第2回審議会では、この後、アンケートの調査結果について報告させていただきますが、この調査結果を踏まえた委員の皆様のご意見をいただき、今後の改定の骨子・方向性の最終確認をした上で、改定素案の作成に入ってまいりたいと考えています。

次回の審議会は5月頃を予定しておりますが、それまでに改定素案を作成するとともに、当該素案を諮問案として本審議会へ諮問させていただきたいと考えております。

その後、4回目の審議会で計画素案の中間確定を行い、それを「パブリックコメント案」として、6月頃、パブリックコメントを実施し、その後「最終案」を作成してまいります。

8月の5回目の審議会において、最終案に対する答申をいただき、8月末を目途に改定計画の確定をしてまいりたいと考えています。

なお、十分な審議をいただき、実効性の高い計画にしていきたいと思っておりますので、審議経過によっては、今後も作業工程を見直すなど、柔軟・弾力的なスケジュール管理を図ってまいりたいと考えております。

以上で私の説明を終わります。

小川会長

ただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問があればこの場でお伺いしたいと思います。

委員の皆様いかがでしょうか。

委員一同

異議なし

小川会長

よろしいでしょうか。

それでは、この基本計画のスケジュールに則って今後進めていくということで、よろしく
お願いいたします。

それでは次に進みたいと思います。

議事（２）鎌倉市スポーツ振興基本計画改定に係る「運動・スポーツに関する調査」の結果
について、事務局から説明をお願いします。

新井係長

時間の関係上、主要な設問についての概要説明とさせていただきます。

１ページをお開きください。

調査の対象は、令和５年１月１日現在、鎌倉市に在住の１８歳以上の市民２０００人
について、鎌倉市の人口構成等に応じて対象を抽出し、調査票の送付を行いました。
性別・年代別・地区別ごとの配布数等は記載のとおりです。

２ページをお開きください。

配布数２０００のうち、回収数は８１５、回収率は４０．８％となっています。

３ページから６ページは、「ご自身」について、性別、年齢、職業、お住いの地区、そし
て「健康状態」について伺っています。

５ページをお開きください。

「健康状態」については、「どちらかといえば健康である」と「健康である」と回答した
人の割合は８８．１％となっており、９割近い方が自己の健康状態を「健康である」と認識して
おりました。

７ページから３１ページでは、「運動・スポーツの実施状況」を伺っております。

問６では、「この一年間に運動・スポーツを行ったことがあるか否か」を聞いていますが、
「ある」と回答した人は約７割、３割近い人が「運動・スポーツを行っていない」と回答し
ています。

１１ページをお開きください。

さらに「１日３０分以上の運動・スポーツを週１日以上やっているか否か」を聞いており
ますが、「やっている」人の割合は４７．４％になっています。

１３ページをご覧ください。

前回の調査では「やっている人」の割合が４６．４％であったため、今回の調査では、約１％
ほど増加しておりますが、平成２６年に策定した「鎌倉市スポーツ振興基本計画」では当該
値を６０％にすることを目標として掲げておりました。

目標には到底及んでいないことが実態としてわかりましたが、今回の改定にあたり、どの
ような目標設定をしていくか、今後、あらためて皆様のご意見をいただきたいと思ってお
ります。

１９ページをご覧ください。

問６で「この１年間に運動を行わなかった」人にその理由を伺いましたが、「仕事・家事

が忙しいから」が42.6%と最も高く、20ページの表のとおり、特に30代では90%以上の方が、「仕事・家事が忙しいから」運動・スポーツを行わなかったと回答しています。

次に23ページから31ページでは、「スポーツとの関わり」について聞いております。

問9は、「鎌倉市主催のスポーツイベントへの参加」について伺っておりますが、8割の人が「参加したことがない」と回答しています。

25ページをご覧ください。

問9-2の「参加をしない理由」については、前回調査と同様、今回も「イベント情報がわからない」が39.0%と最も高くなっています。

26ページ、問10は「市施設の利用状況」になります。

利用状況は記載のとおりですが、この中で「利用したことがない」人の割合は36.7%と、3分の1を超えている状況です。

28ページをご覧ください。

問11では、「新型コロナウイルス感染症の影響」について伺っています。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、運動・スポーツ習慣に「変化があった」と答えた人が34.6%、「変化はなかった」と答えた人は61.6%となっています。

29ページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて「運動・スポーツ習慣の変化があった」と回答した人の半数が、新型コロナウイルス感染症の5類感染移行後も、コロナ前の状況にはいまだ「戻っていない」と回答しています。

続いて30ページ、問12は「スポーツボランティア活動」についての調査になります。スポーツボランティア活動を行ったことが「ある」と回答をした人の割合は1割程度であり、「ない」は8割を超えています。

31ページ、問13をご覧ください。

ここでは、スポーツに関するボランティア活動に参加する動機づけ等を聞いておりますが、動機づけのいかんにかかわらず、「活動には参加しない・できない」と回答した人は33.4%と3分の1を超えております。

32ページから34ページは、「「みる」スポーツについて」の調査になります。テレビ観戦を除くスポーツ観戦の頻度では、6割近い人が「ほとんど観戦しない」と答えており、観ている人のうちでも、「年に数日程度」という人が最も多くなっています。

35ページから37ページは、「パラスポーツについて」についてのアンケートになります。

問15で「パラスポーツとの関わり」を聞いたところ、9割以上の人が、観戦を含め「関わったことがない」と回答しています。

36ページをご覧ください。

問16で「東京2020パラリンピック等をきっかけに、パラスポーツに関する関心の変化があったか否か」を聞いていますが、半数以上の方が「特に変化はない」と回答している

一方、3割以上の方が「パラスポーツに対する理解が深まった」と回答しています。

37ページ、問17では「パラスポーツや障がいのある人の運動・スポーツの普及・振興のために最も必要なこと」を伺いましたが、「スポーツ施設のバリアフリー化」が最も多く37.9%、次いで「障害のある人も参加できる事業の実施」が33.1%、「パラスポーツの観戦や体験会」などの実施が24.8%となっています。

38ページでは、「子どもの運動・スポーツについて」について、「子どもの運動・スポーツ環境にどのようなことを求めるか」を聞きました。

「安全に運動・スポーツが行える環境」が70.1%と最も高く、次いで「子どものやる気や能力を引き出す育成環境」が40.9%、「子どもの社会性・協調性の醸成」37.2%と続いています。

最後に39ページから46ページで、「鎌倉市におけるスポーツの推進について」を聞いています。

問19では、「鎌倉市のスポーツ情報をどこから入手しているか」を伺いました。

「広報かまくら」、「町内会・自治会の回覧や掲示板」、「新聞・タウン誌等」と続いているのですが、そもそも「入手していない」と回答している人も全体の3分の1を超えております。

40ページ、問19-1で、「入手したスポーツ情報の活用」について聞いたところ、6割以上の方が「特に活用していない」と回答しています。いかにスポーツ情報を効果的に提供し、また、それを「活用」につなげてもらうかが、今後の課題になるものと捉えています。

42ページ、問21では「身近にあればいいと思われる運動・スポーツの場」を聞いておりますが、回答状況は記載のとおりです。

44ページをお開きください。

鎌倉市のスポーツの推進のために、市が力を入れるべき取り組みについて尋ねたところ、「市のスポーツ施設・設備の充実」が53.1%と最も高く、次いで「スポーツ教室・イベントの開催」、「高齢者のスポーツ活動の推進」と続いています。

45ページ、問23は「スポーツ振興に期待する効果」を聞いております。

記載のとおり、「地域コミュニティの醸成・活性化」が35.1%、「高齢者の生きがいくくり」が32.8%、そして「地域の健康水準の向上」が30.2%と続いておりますが、今後、スポーツ振興基本計画の改定を進めていく際に、市民が何を期待しているか、押さえておかなければならないポイントになるものと捉えております。

今回の調査では、問10-1において、「過去に利用したことのある市の施設について特に感じたことや、ご意見、ご提案等」を、そして最後に「鎌倉市のスポーツ施策全般に関する意見や提案等」について、自由記述をしてもらっておりますが、その要旨の抜粋を机上配布しておりますので、後ほど、ご高覧いただきますようお願いいたします。以上で説明を終わります。

小川会長

ご説明ありがとうございました。

ただいまの説明に対しまして、ご質問ご意見があればいただきたいと思います。

いかがでしょうか。

加藤委員

意外とスポーツに関わってる人が少ないなってこういう感じはしました。

小川会長

他にご質問ご意見等はございますでしょうか。

若木委員

8ページを見ますと、1年間に行った運動・スポーツの種目は、ウォーキング等が50.7%、そうですね。これは平成26年にとったアンケートは32%くらいなのでだいぶ増えていますが、代わりに、スポーツ協会の加藤委員を前にして申し訳ないが、競技系のスポーツの実施率が軒並み減少していることが読み取れます。

この原因は何なのか。事務局でお答えできればお願いします。

新井係長

一番大きな影響というのは、やはりコロナ下においてスポーツに対する考え方の変化というのが大きいと捉えています。ウォーキングであれば、他の人と一緒になってやらなくても自分のペースでできる。また密にならずにできるというところから、実施率が高くなっていていると考えています。

和田委員

ちょっと意外だったのは、コロナ下で、逆にスポーツをやる人が増えたっていうのをニュースで聞いたんですよね。それがこの調査では減っている傾向があるんです。

僕はゴルフやるんですけども、コロナ下で人込みに出れないので若い人でゴルフをやる人が増えたとか、ジョギングをする人が増えたとかっていうニュースを聞いたんですけども、それがちょっと反映されてないと感じました。

加藤委員

特にスポーツ協会の方では、柔道とか剣道とかは接触するんですね。だから特に柔道などは、以前のようにはできなくなったとは聞いています。

小川会長

ほかに何かありますでしょうか。

ないようでしたら、議事(3)鎌倉市スポーツ振興基本計画改定にあたっての方向性について、事務局の方から説明をお願いします。

新井係長

資料3をご覧ください。

この資料については、令和5年11月17日に開催いたしました第1回審議会において説明申し上げ、今後、鎌倉市スポーツ振興基本計画の改定を進めるにあたっての方向性として確認をいただいております。

前回の審議会において、内容の説明はしておりますので、本日は、詳細説明は省略させていただきますが、現在の「鎌倉市スポーツ振興基本計画」の計画期間は令和7年(2025年)

までですが、運動・スポーツを取り巻く環境が大きく変化をしており、市民にとってのスポーツの重要性も日々増していることから、一年前倒しで改定作業を進めること、

スポーツ振興基本計画においては、スポーツの範囲を広く捉え、競技スポーツだけではなく、健康維持や仲間との交流、レクリエーションなど多様な目的で行う身体活動を含めていくこと、

また「する」スポーツだけではなく、スポーツを「みる」、「ささえる」という活動にも焦点をあてていくこと、

さらに、新たな視点として、「SDGs とのかかわり」、「共生社会の実現」といった視点にも十分配慮していくことなどを確認いただいておりますが、

議事（２）で説明させていただきました調査結果を踏まえ、さらにこの中に盛り込むべき考え方や視点がないか、今後の方向性について最終確認をいただきたいと思います。

その方向性に沿って、今後、基本計画改定素案の作成を進め、次回審議会にて諮問をさせていただきますと考えております。以上で説明を終わります。

小川会長

ありがとうございました。ただいま説明がありました「鎌倉市スポーツ振興基本計画の改定にあたって」につきましてご質問等ございませんでしょうか。

若木委員

SDGs ですが、17 ある項目の中で、3 と 11、14、15、これらの項目がアンケートを踏まえて、一番適してるのかなと思うんですね。11 番に「住み続けられるまちづくりを」というのがあるが、そういうようなものはアンケートにもあった「コミュニティの醸成」にも結びついてくるのかなと思いますので、無理に 17 項目を当てはめしないで、この計画に合うものをうまく組み合わせたらと思うんですけど、いかがでしょうか。

小川会長

ありがとうございます。事務局の方から何かありますか。3、11、14、15 ですか。

若木委員

3、11、14、15 が、アンケートからもふさわしいのではないかと思います。

新井係長

事務局としても 17 ある目標を必ずどれかに当てはめようという考え方ではなく、柔軟に捉えていきたいと考えています。

小川会長

具体的にどれを当てはめていくということではないということ・・・。

新井係長

一つの視点として配慮して施策に反映させていきたいと考えています。

若木委員

ぜひそういう方向で。無理に 17 を当てはめてることなく進めてほしいと思います。

村松課長

市の実施計画なども、計画ごとにSDGsの適した項目をそれぞれの計画に対応させていきます。まさに若木委員がおっしゃられたような形で作られていますので、スポーツ振興基本計画でも、同じ流れになろうかと考えています。

小川会長

他にございますでしょうか。基本計画の素案を作成する上での方向性の確認になりますので、ぜひとも皆さん、それぞれのお立場からご意見をいただきたいと思います。全員から一言ずつご意見を伺えればと思います。お1人ずつご指名させていただいてもよろしいでしょうか。

加藤委員

今ちょっと心配というか、気になっていることは、先生が中学生などの指導をきちっとしないということになって、今後、どううまく指導者がついて、クラブとか、運動する人が、これから増えていくのか、減っていくのか、その辺がちょっと心配ですね。

我々が中学生の頃ってというのは先生が主体だったが、今はそれができなくなってOBなどに来てもらうということで、指導者と先生の交わりがうまくできるのかなってというのが心配でありますね。そういうことがちゃんとできないと、スポーツが前に向かって伸びていけないような気がしています。それが実際もう始まっているんですかね、そういうことがね。

どういう状況かはまだ私も把握してませんが、そんなことがちょっと心配です。

新井係長

ご意見ありがとうございます。一応部活動の地域移行の関係は、今後国の方で方向性を示すとされておりまして、今回の市のスポーツ振興基本計画の中では具体的なところまで触れることは難しいかなと思っています。

村松課長

今、教育委員会を中心にですね、そちらの方の検討をしています。あくまでも県の教育委員会から今後大きな方向性が示されると思うので、その後、鎌倉市の教育委員会がその方向性に沿って具体的な検討を進めていくこととなりますが、その中で地域の指導者の方々とどうやって接点を持っていくか、そういった点についてすでに研究を始めているので、そちらの方でやっていく形になると思います。

加藤委員

そういうことをこれから進めていくということですね。

村松課長

そうですが、ちょっとこの計画とはちょっと違う方向での検討という形になろうかとお思います。

小川会長

子供のときの運動経験は、その後の生涯スポーツにつながると思います。

和田委員

おそらくこれはスポーツ振興だから、市民の皆様にスポーツをやっていただくという計

画だと思っています。そうなるが一番大切なのは、基本的には施設ではないかと、皆さんもそう考えると思うんですけども。鎌倉は土地がなかったりとか、場所がなかったり、やっぱり施設が足りないのかなど。大きな体育館もなかったりとか、野球場がなかったり、競技場がなかったりとか、そういうところが一番の問題では。

やはり施設が充実していれば、スポーツをやる人も多くなるとは思うんですよね。プールにしてもそうですけども、海浜公園プールは、最初の神奈川国体のときにできたのでしょうか。何十年前にできたものですが、それがまだ新しくならないとか。

施設の充実っていうのは本当一番大事だと思うんですけど。そうすればより多くの人が行ってみようかなど。とりあえず行ってみて、何をやろうかなって始まると思うんですけども。大変難しいんですけどね。

この間、ラグビーの鎌倉ラグビースクールの指導者の人ですが、深沢多目的スポーツ広場が使えなくなるので、あらたに山崎浄化センターに施設が作られたが、あそこは土の状態か何かで、全くできないと言っていました。

そういう面でもやっぱり環境が大事だと思うので、一番難しいところではありますが、やっぱりそこに力を入れて欲しいなっていう、していかなきゃいけないんじゃないかなっていう考えです。

新井係長

今回のスポーツ振興基本計画の中では、まずはスポーツ施策を今後どうしていくかというところをきちっと固めて、その計画を踏まえて今後どういう施設が鎌倉には必要なのかということ、次の議論を進めていければなというように思っておりますので、よろしくお願いします。

小川会長

みるスポーツも非常に少なかったんで、そういった施設にチームを呼んでいく機会があれば、いろいろ関わりが増えるのではないかと思います。

河田委員

はい。前回は申し上げましたけども、この審議会の話はどこまで浸透してどこまでどういうふうにしていきたいのかなど。前回のこの平成26年のときに、いろいろやりましたよね。

先ほど新井さんもおっしゃってたけども、スポーツの普及率を60%にしようって、あのときから言ってたんだけど、あれから施設が何か一つか二つ増えましたか。

増えてないのに、それだけの競技人口を増やそうとか、スポーツをする人の人口を増やそうというのは、それ自体がまず無理だったんでしょって話。そうすると、26年のときに使ったその審議会の話は何一つ生かされてなかったんでしょって話。生かすのであれば審議会のこの答申を生かしてどういう方向で持っていきたいんですかっていうのを前から私はスポーツ課にお尋ねしてるんですけど、我々の意見だけを聞くのではなくて、スポーツ課さんはどうしたらこういうふうにしたんだよっていう話をですね、もう少し練り込んでいただきたいのと、それから先ほど学校の体育のスポーツのことも話も出ましたけど、我々も

高校野球なんか携わってやってきました。学校スポーツというのは非常に大切だと思います。学校スポーツ、中学生高校生のときに体に染みついたスポーツは大人であってもやりますよね。これやらなくなったら、あと50年後には、日本のスポーツはすたれますよ。その辺をスポーツ課は教育委員会とどのようにタイアップしながら、鎌倉はどういうスタイルをとってやって、50年後の子供たちが生涯スポーツに親しめるような環境を作ってあげられるか、それから私どもは、この審議会に行って、総合体育館総合対策、グラウンドができますよっていうことを地区に帰って発表してるわけですよ。だから、あれから何年経って、どういうに進んでるんですかって聞かれたときに、私は答えられませんよね。

市がそういう方針出してないんですもん。市庁舎が先になるのか、何になるのか。村岡の新駅が先になるのか、そうすると、市長さんが、大きな旗を振っていただいて、総合グラウンド総合体育館を深沢に作りますよって言っていただいたけども、それいつになるのかということですよ。そういうような説明ができない中でこれもさっきを読ませていただきましたけど、平成26年のときには総合体育館総合グラウンドができれば、今ある小さな体育館はやめて、それ1本にしますって言ったけど、私は当時、全国でいろんな所に研究大会で行ってましたけど、自転車で通える体育館、そういう所がみんなで汗流したときに、一番活気がいいところなんです。

それを小さな体育館を潰そうとして大きな体育館だけを残そうとしたら、もっともっと自転車で通う人たちがスポーツしなくなっちゃう。学校開放運営委員会って今ありますよね。あれは非常にスポーツの普及率を上げてると思うんですよ。だからその辺の拡充と充実も必要かなというふうには思っています。

そうしないと、旗印で60%と掲げても、いかないと思います。以上です。

新井係長

おっしゃる通り、スポーツをやるにあたって施設は当然重要であるということは認識しております。先ほどのスポーツやってる内容では、ウォーキングが上位に来ておりますけれども、とは言いながらもどうしても場所がなければできないスポーツも多々あります。

そういった中で、26年度の中長期の取り組みとしては、グラウンドですとかそういったものについては公式競技が可能なグラウンドの整備などを引き続き中長期的な視野に立って取り組みを継続しますということでした。あれから時間は経っていますが、今の時点ではっきり具体的なスケジュールをお示しすることは難しいところではありますが、深沢の整備に併せて、振興基本計画に沿って検討を進めてきているところです。

今回のスポーツ振興基本計画の中で、まずは施策のあり方、方向性を決めた後、それから先の計画策定後に、既存の施設も含めて鎌倉のスポーツ施設をどうしていくかというところは、別途まとめていきたいと考えています。

小川会長

よろしいですか。

河合委員

私は中学校から出てまして、中体連中学校体育連盟の会長という立場でもいます。そういう点で、加藤委員や河田委員が中学生の育成っていうところも気にさせていただいて、非常に嬉しく思います。現状は鎌倉市では特に変わりなく、これまで通り、それぞれ部活動の顧問が教えてるような状態です。今後、そういう地域の力も借りて、部活動の運営をしていくことができるよう、鎌倉市でも検討していくと聞いていますので、それに期待をしています。

施設の問題は前回も振興基本計画改定後に検討するということでしたが、やはり今回のアンケートからも、施設の改修はいつですかとか、衛生面が気になるというもの非常に多いと感じております。

個人的な話になりますが、私はサッカーをやっていて、鎌倉市サッカー協会の役員でもありますが、現状では、社会人部会の方で場所が確保できない、試合の会場がないということで・・・。これまでは深沢の多目的広場を会場にしてたんですが、今後使えないということで、笛田1本になってしまいますが、少年サッカーが使うために、社会人の枠が少なくなっています。他の競技もそこを使うので、だんだん狭まって行って、試合もできないので、登録をやめますっていうチームがすごく今増えてきてしまって、継続が難しいという局面まで来てしまっています。ちょっと厳しいことを言うとエンジョイ鎌倉スポーツライフというような状況に今はなっていないというようなところもあるので、振興基本計画を実効性のあるものにしてもらって、その後の施設整備に繋がるものにしていただきたいなと思っています。以上です。

小川会長

いろいろご意見出ましたけれども、それらを踏まえて素案を作るということでよろしくお願ひします。施設の充実も含めて、足りない中でもどうやっていくかだと思いますけれども。その他何かありますか。

若木委員

平成26年に策定した振興基本計画の中で、スポーツ振興計画は確かに実現に向けてという中に、きちんと評価しましょうというものがあるんですね。

河田委員を初めとして各委員さんがおっしゃられてるように、これを一度きちんと評価をして、これのできた、これはできない、なぜなんだっていう部分を、それぞれの委員さんからいろいろご意見をいただきながら、5月の審議会に向けて準備をしていくっていうご提案をさせていただきたいと思います。

小川会長

前回も評価に関してはご意見をいただいていると思うんですけど、いかがでしょうか？

小関課長補佐

どういった評価ができるかを含めて、事務局の中で検討させていただければと思います。

ちょっと評価の仕方っていうのを、他の市の事例もみて考えていきたいと思っています。

小川会長

次回の審議会で評価をしていただいくということでよいでしょうか。

小関課長補佐

評価のやり方、時間的なことも含めて検討させていただきます。

小川会長

よろしくお願いします。

それでは、「その他」について事務局からお願いします。

新井係長

次回の審議会なんですけれども、一応スケジュール資料 1 で示した通り 5 月に予定をしているところでもあります。今のところの見通しでは 5 月中旬から下旬にかけての開催になろうかなというふうに思ってるんですけれども、今この場でちょっと日程決めるとこまで難しいかなと思っているので一応予定としては中旬から下旬を今想定はしています。

後で個別に調整させていただきます。また改めて日程の確認は事務局の方でさせていただければと思いますのでよろしくお願いします。

小川会長

委員の皆様、他に何かございますでしょうか？

それでは他にないようですので、これで審議会を閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。